

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社シーサポート

②事業者情報

名称：	皆光園	種別：	障害者支援施設
代表者氏名：	荻久保敦史	定員(利用人数)：	50 名
所在地：	〒 366-0811 埼玉県深谷市人見1998	TEL	048-573-2021

③評価実施期間

平成30年7月1日（契約日）～平成30年11月21日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

運営・支援ともにPDCAサイクルの意識のもと検証と改善が継続されています

施設全体として：重点目標シート・サービス自己評価、職員個人として：業績・能力評価・セルフチェック、利用者の支援として：ケアプランシステムの確立等々が実施されており、マクロとミクロ双方ともにPDCAサイクルが徹頭徹尾において浸透しています。改善の継続が信用と信頼を生み、公立施設としての安定した運営と使命の全うに繋がられています。

利用者一人ひとりに対して「細やかに」・「適した」支援がなされるシステムが構築されています

利用者一人ひとりに対して支援での留意事項等を記したサービス基準が策定されており、職員による支援の差異の減少・課題の明確化と支援とのリンクが実践されています。また、ケアプランに即した支援により、「利用者のできることを大事にした」・「自立の維持・促進」に対する支援となるよう努めています。

評価全般を通して利用者の意思の尊重・権利の保障への取り組みを理解しました

虐待防止・権利擁護の園内研修を10回以上開催しており、職掌や役割にかかわらずすべての職員が遵守すべき事項として全職員が参加できるよう取り組んでいます。利用者満足度調査の実施、生活委員会での話し合いなどを通して意向の把握に努めており、本評価に伴う利用者聞き取り調査時をはじめ評価全般を通して利用者の意思の尊重・権利の保障を最重視していることを理解しました。

◇特にコメントを要する点

実行と検証が繰り返されることが浸透した運営により、本評価を通じても実践的な課題や目標が抽出されました。すべての課題に利用者への思いと愛情を感じることができ、管理者をはじめとする職員の熱意を理解することができました。

【抽出された目標と課題】

- ヒヤリハット報告書の「その他」に分類された事項の分析
- 外出等個別支援時間・回数の増加
- 法人内の障害者支援施設における書式等の合同による検討
- 職員へのマニュアル等標準化に対する更なる浸透
- 備蓄の一括管理を含む方法の検討
- BCPの作成
- 入浴時の脱衣スペースの改善
- 傾聴ボランティアの募集と受け入れ
- 高齢化・重度化に伴う多様な介護技術の取り入れと習得
- 短期入所を含めた利用率の改善

旺盛な改善力により取り組み、その結果についての検証や説明が望まれます。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

訪問調査では、実態の把握だけでなく、一つ一つの取り組みの考え方、プロセスについても、共感的姿勢で聞いていただきました。施設の良い所を知ろう、聞こうとして下さる姿勢が非常に私たちの励みにつながりました。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり